



しらみね物語 NO.5

令和2年7月20日



感謝の気持ちをもって (6月30日 全校朝会校長講話より 抜粋)

みなさんに「反対語クイズ」を出します。「大きい」の反対は？そうです。「小さい」です。では「長い」の反対は？「短い」ですね。それでは、感謝するとき言う「ありがとう」の反対の言葉は何でしょう？

答えを言う前に、「ありがとう」を漢字で書いてみます。「有難う」と書きます。「有」は「有ること・起こること」という意味です。「難」は「難(かた)し」と読みます。「難しい」という意味です。ですから、「有難う」は「有り難し」で、「有ること・起こることが難しい、まれである」ということです。つまり「奇跡」ということです。「有難う」を「奇跡」と考えると…。「ありがとう」の反対の言葉は、「当たり前」となります。

みなさんは、毎日起こることを当たり前だと思って生活していませんか？「ご飯を食べること」「歩いたり走ったりすること」「友だちと楽しく話すこと」など、たくさんありますね。考えてみてください。「おうちの人のご飯を作ってくれなかったら」「足を骨折していたら」「病気で声が出なくなったら」と考えると、決して当たり前ではありません。毎日こうして元気に学校来て、みんなと勉強できることも、決して当たり前ではなかったことを、今回のコロナウイルス感染症のことで感じることができましたね。

普通に思える生活の一つ一つを「有り難し」と考え、「ありがとう」という感謝の気持ちをもって送りたいですね。「ありがとう」という言葉があらわれる学校にしていきたいと思います。



- ・毎朝の児童玄関での体温チェックの後に「ありがとうございました！」とおじぎをしていく子。
 - ・雨降りの日に、廊下や階段の電気をつけたら、「ありがとうございます！」という声をかけてくれる子。
 - ・委員会活動での元朗長りを伝えたら、「ありがとうございます」と言葉を返してくれる子。
- 素敵な姿がたくさん見られて、心があたたかくなります。「こちらこそ、ありがとう！」



<ハイヤを教わりました>

7月13日(月)白峰民謡保存会の尾田芳美先生をお招きして、地区伝統の「ハイヤ」の踊りを教わりました。9月の運動会では、心をそろえた動きとなるよう、練習を重ねて行きます。

ひのき笠は、深瀬にご縁のある伝統工芸士の方々や白峰サービスセンターの方に修理していただきました。各ご家庭には、修理に使用するネクタイの寄付にご協力いただきありがとうございました。



【よろしくお願ひします！】



【調子をそろえて！】



【笠の使い方が難しいです】

<地域の方々ありがとうございます！>

「ハイヤ」の学習の他にも、白峰小学校は地域の方々がたくさんご協力をいただいています。

7月2日（木）は「白山麓おはなしの会」より松田さんと山科さんが、朝の読み聞かせを行ってくださいました。昨年度より聞く態度がよくなりましたねと、お褒めの言葉もいただきました。次回からは、緑の協力隊の大沼さんも加わってくださいます。7月9日（木）は「竹腰永井建設」の方々のご協力で、堰堤工事の様子を見学させていただきました。大きなブロックを持ち上げるクレーン車にビックリ！白山の土砂災害を防ぐためにお仕事をしてくださっていることがよくわかりました。



【伝統工芸士の方々】



【白山麓おはなしの会 松田さん】



【クレーン車の大きさにビックリ！】

<7月のなかよしタイム>

7月17日（金）今年度2回目のなかよしタイムがありました。今回は、「ウォークラリー」。ルールを守り、グループで協力してゲームやクイズに挑戦しました。活動を通して、友だちと協力することの大切さ、自分や周りの人たちのよさに気づくことができました。



【役割分担とめあてを相談】



【音楽室では先生とじゃんけん】



【アパカバールの意味は？】



【ミニトマトの数はいくつ？】



【クイズの答えはこれだ！】



【ふり返りを伝えます】

人は習慣によってつくれる。
優れた結果は、
一時的な行動ではなく、
習慣から生まれる。

～アリストテレス～



ある新聞で見かけた言葉です。
毎日学校で過ごす子どもたちの習慣。登下校のあいさつ返事、言葉づかい、給食時のマナー、授業のルール等、おろそかにすることなく取り組んでいきたいと強く思いました。もちろん、大人も一緒です。心していきたいものです。